



2021年7月27日

各 位

会 社 名 ペ プ チ ド リ ー ム 株 式 会 社
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 リ ー ド ・ パ ト リ ッ ク
 (コード番号：4587 東証第一部)
 問 い 合 わ せ 先 IR 広 報 部 デ ィ レ ク タ ー 沖 本 優 子
 電 話 番 号 (0 4 4) 2 2 3 - 6 6 1 2

武田薬品工業との中枢神経系疾患に対するペプチド-薬物複合体に関する
 パートナーシップの拡大に関する契約締結のお知らせ

当社は、以下のとおり、武田薬品工業株式会社の米国子会社であり、グローバル開発拠点を擁する武田ファーマシューティカルズUSA Inc.（以下「武田薬品」）との間で、両社の共同研究および独占的ライセンスの枠組みを拡大し、慢性神経変性疾患において重要な役割を担う複数の中枢神経系（CNS）ターゲットについてペプチド-薬物複合体（Peptide Drug Conjugate、以下「PDC医薬品」）の創製に向けた取り組みを進めることとなりましたので、お知らせいたします。

1. 契約の内容等

当社と武田薬品は、2020年12月22日に神経筋疾患領域における複数のPDC医薬品の創製に関する包括的な共同研究および独占的ライセンス契約を締結し、当社とJCRファーマ株式会社が開発したトランスフェリン受容体1（TfR1）結合ペプチドと武田薬品が選択した医薬品候補化合物の組み合わせによるPDC医薬品の創製に関して共同研究を進めてまいりました。今回の共同研究の拡大により、神経変性疾患に関連する複数のCNSターゲットに対してTfR1結合ペプチドリガンドを用い、武田薬品がTfR1結合ペプチドと医薬品候補化合物の複合体を作成して、医薬品候補化合物に血液脳関門（BBB）通過能を付与する研究が行えるようになります。

本契約の締結に伴い、当社は武田薬品から契約一時金を受領いたします。また今後、当社は本契約によって発生する契約一時金、ならびに今後の非臨床および臨床試験の進捗、製品の発売および製品の正味売上高に応じたマイルストーンフィーとして、総額で最大約35億ドル（約3,903億円*1）を受け取る可能性があります。また、当社は上記に加え製品化後の正味売上高に応じたロイヤルティを受領する権利を有します。

*1: 1ドル=111.5円として計算

2. 契約相手先の概要

(1) 名 称	武田ファーマシューティカルズUSA Inc. (Takeda Pharmaceuticals U.S.A., Inc.)
(2) 所 在 地	95 Hayden Avenue, Lexington, MA 02421, United States

(3) 代表者の役職・氏名	President: Ramona Sequeira	
(4) 事業内容	医薬品等の販売	
(5) 設立年月	1998年	
(6) 大株主及び持株比率 (2021年3月31日現在)	武田薬品工業株式会社 100% (直接所有: 72.7%、間接所有: 27.3%)	
(7) 上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	該当事項はありません。
	人的関係	該当事項はありません。
	取引関係	Peptide Drug Conjugate (PDC) に関する共同研究および独占的ライセンス契約を締結しております。
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。

※同社は非上場会社のため、過去3年間の業績に係る記載はしていません。

3. 日程

(1) 社内決済日	2021年7月26日
(2) 契約締結日	2021年7月26日
(3) 事業開始日	2021年7月26日

4. 今後の見通し

本件につきましては、2021年2月10日に発表いたしました2021年12月期の業績予想への影響は軽微です。業績予想に変更が生じる場合には、速やかに開示いたします。

以 上